

ディケンズ・フェロウシップ日本支部ニューズレター

2022年10月16日

今年の秋季総会は10月8日（土）に大阪公立大学杉本キャンパスで開催されました。3年ぶりの対面式開催となり30余名の参加がありました。マスクや消毒等の感染症対策こそあるものの、久しぶりに直接互いに会えた嬉しさがほくほくと充満した会場で、出席者一同、プログラムの研究発表と講演に耳を傾けました。いずれのお話にも独自の視点と発見、驚きがあり、たいへん濃い内容でした。総会後は、天王寺に移動しての懇親会。会場は大阪の夜景が一望できるホテル最上階レストランでしたが、ご出席の皆さんは夜景はそっちのけで、すっかりご歓談とお食事に夢中のご様子でした。総会、懇親会いずれにおいても、皆でフェロウシップを肌で体感できたことは大きな喜びでした。

大阪公立大学の田中孝信先生はじめ、当日の運営を支えてくださった先生方、学生のみなさんに感謝申し上げます。司会者の先生も含めまして、ご登壇くださいました皆様にも御礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症が完全に終息しない中、感染対策にご協力いただきつつ、お忙しい中会場にお運びいただいた会員の皆様、有難うございました。

秋季総会の議事の内容を以下にお知らせいたします。

総会報告

審議事項

1) 年1回の年次大会（総会）を秋季から春季に移行することについて

理事会より提案された以下の方針について、原案通り承認されました。

現在秋季（10月初旬）に開催している年次総会を春季（6月初旬）に移行して開催する。実際の移行は2024年度からとする。

- ・2023年度は10月に秋季総会を開催する予定です。これが秋季に開催される年次総会としては最後のものとなります。
- ・役員任期、『年報』の刊行スケジュール等については、原則現行のままを踏襲します。

2) 会計報告

財務担当理事の田村真奈美先生より会計報告、監査の梅宮創造先生から監査結果報告があり、承認されました。

報告事項

著作権について

『年報』の著作権について（宮丸裕二理事）

昨今、学会の著作権にまつわって、学会誌の論文等の記事が第三者によってレポジトリに無断で登録された上で、その第三者が著作公開権をも登録・保持してしまう例が起きているようですが、本支部の『年報』では著作公開権を学会に属するものとして定めているため、当面はその危険を回避できる仕組みになっていることを、総会の場で報告しました。

その他

来年度秋季総会

上でお伝えいたしました通り、来年 2023 年に開催される秋季総会が、秋季に開催される最後の年次大会となります。会場、日程ともにまだ未定ですが、決まり次第 ML にてお知らせいたします。

（以下、総会でお伝えしたこと以外のお知らせです）

次回の 19 世紀イギリス文学合同研究会（第 1 回大会）について

第 1 回 19 世紀イギリス文学合同研究会が 2023 年秋に開催されます。ハーディー協会が幹事学会で、開催校は関東学院大学（関内キャンパス）です。日程は、11 月 5 日となる可能性が高いとの開催校からの連絡がありましたが、未定です。こちらに関する情報も今後 ML にて更新いたします。

ディケンズ・フェロウシップ日本支部長 松本靖彦

